

基本方針	専門的な資料・情報や地域資料等を収集、蓄積し、県民・企業の調査研究に対する支援機能を充実する。				
重点目標1	資料・情報提供機能の強化による全県サービスの推進				
重点取組	多様な情報要求に対応し県民・企業の課題解決を支援する資料・情報提供の推進				
1 総合評価	R1年度	4	5:目標を上回っている 4:目標に達している 3:目標の8割以上達している 2:目標には達していないが、一定の進捗が見られる 1:目標達成に向けた進捗が見られない	※数値の達成だけでなく総合的な評価とする	
	R2年度	3			
	R3年度	4			
2 評価理由	<p>前年度に引き続き、非来館でも利用できるwebを活用した展示やオンラインの講座を工夫して実施するとともに、多くのパスファインダーを作成し県民の調査支援を行った。それにより、指標6項目中4項目で目標を達成することができた。</p> <p>なお、国立国会図書館レファレンス協同データベース事例公開件数、レファレンス掲示板件数については、目標値をやや下回ったものの、令和元年度から強化した職員研修や継続的な広報の実施によって、初年度の件数を上回ることができた。</p> <p>以上のことから、評価を「4」とした。</p>				
3 数値目標と結果					
投入指標	パスファインダー等の発行数 <sup>*1</sup>	目標値	R1年度	R2年度	R3年度
		実績値	20点	20点	20点
		達成率	165%	210%	225%
	国立国会図書館レファレンス協同データベース事例公開件数	目標値	230件	230件	230件
		実績値	200件	201件	210件
		達成率	87%	87%	91%
活動指標	レファレンス件数(事項調査)	目標値	5,300件	5,300件	5,300件
		実績値	6,595件	4,887件	5,435件
		達成率	124%	92%	103%
	レファレンス掲示板件数(協力レファレンス) <sup>*2</sup>	目標値	60件	60件	60件
		実績値	52件	35件	58件
		達成率	87%	58%	97%
満足度	レファレンス満足度 <sup>*3</sup>	目標値	4.4以上	4.4以上	4.4以上
		実績値	4.3	4.5	4.5
		達成率	未達成	達成	達成
	協力レファレンス満足度 <sup>*4</sup>	目標値	4.8以上	4.8以上	4.8以上
		実績値	4.9	4.8	4.8
		達成率	達成	達成	達成
<p>*1 パスファインダー:あるテーマについて調べる時に役立つ基本資料や調べ方を紹介する道しるべとなる資料</p> <p>*2 レファレンス掲示板:県内市町村立図書館から県立図書館にレファレンス依頼をするためのインターネット上の掲示板</p> <p>*3 レファレンス満足度:5段階評価(利用者アンケートより算出)</p> <p>*4 協力レファレンス満足度:5段階評価(市町村立図書館へのアンケートより算出)</p>					
4 行動計画と実施状況					
	取組内容	行動計画(具体的な内容)			指標
1-1	各分野におけるレファレンスサービスの推進	担当する各分野のレファレンス事例紹介、調べ方案内の発行、調査研究に役立つリンク集等を充実するとともに、国立国会図書館レファレンス協同データベースの「調べ方マニュアル」への事例提供を継続する。レファレンスサービスの認知度の向上、職員の技術向上により、レファレンスサービスを推進する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化講座、講演会の内容に即した調べ方案内の発行</li> <li>本やWebの情報をテーマごとにあつめて公開できるwebサービス「ナラベル」を活用した情報提供</li> <li>ウェブサイト「調査研究に役立つリンク集」「埼玉県暮らしに役立つリンク集」更新(3月)</li> <li>国際情勢(ウクライナ危機)に関わる資料・情報(窓口紹介、リーフレット配布等)提供</li> <li>レファレンスについての職員研修を2館で実施</li> </ul>			
1-2	県内行政機関や外部機関・団体等との連携事業の拡充	県の各課所館・団体等と連携し、県民向けに周知を図る事項について、課所館等が製作する広報物と図書館資料とを組み合わせた連携展示を協力して実施する。合わせて資料リスト等を作成する。			投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携展示「めざせ!川はかせ一川をきれいにするためのしくみを知ろうーin埼玉」(環境科学国際センターと連携)、「ヤングケアラーを考える」(地域包括ケア課と連携)等の実施及び資料リスト配布</li> </ul>			

1-3	一人一人のチャレンジ支援につながるビジネス関連情報提供の推進	ビジネス関連の講座・講演会・資料展等を開催するとともに、『仕事に役立つサーチガイド@埼玉』の改訂に取り組む。また、関係機関と連携し、一人一人の状況に応じた資料・情報提供を行う。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「仕事に役立つサーチガイド@埼玉 改訂2版」発行</li> <li>女性創業相談会(原則毎月第1木曜実施 計9回 延べ37人 満足度=4.9)</li> <li>ビジネス支援セミナーの実施(1-2月 3回 延べ27人 満足度=4.6)</li> <li>関係機関との連携による講座・相談会・研修会を14回開催</li> </ul>	
1-4	県民に向けた海外資料サービスの広報及び関連事業の開催	国際理解や多文化共生への理解を深めるため、関連事業を開催するとともに、国際課や国際交流協会等関連機関と連携し、利用案内、ウェブサイト、資料展示等により海外資料サービスを広報する。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料展「多文化共生とコミュニケーション 言葉や文化が違う人と話す」の実施</li> <li>海外資料普及事業「外国人だから外国語? 「やさしい日本語」のはじめかた」実施(オンライン 1月27日 23人 満足度=4.1)</li> </ul>	
1-5	県民のヘルスリテラシー向上に役立つ健康・医療情報提供の推進	健康・医療情報関連の講座・講演会、資料展・パネル展示等を開催するとともに、『健康・医療情報リサーチガイド@埼玉』の改訂・配布を行う。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケア課と連携した認知症のパネル展示を実施</li> <li>情報の探しかた講座健康・医療情報の調べ方の2講座を実施(11月20日 計11人 満足度=4.8)</li> <li>健康・医療情報講演会「イチから学ぶ『依存症』～正しい理解と支援のために～」開催(3月12日 29人 満足度=4.8)</li> </ul>	
1-6	レファレンス事例データの一般公開の推進	レファレンス事例データを適正に入力・管理し、国立国会図書館「レファレンス協同データベース」へ計画的な提供を行う。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立図書館受付事例について、2館で分担してデータ入力し、サービス系職員全員で校正を行い、担当職員がとりまとめ「国立国会図書館レファレンス協同データベース」に計画的に一般公開(累計=9,148件)</li> </ul>	
1-7	県内市町村立図書館等を対象とした協力レファレンスサービスの利用促進	県内市町村立図書館、図書館類縁機関、大学に対して、レファレンスサービスを支援する「図書館協力レファレンス掲示板」などの活用を促すとともに、受付・回答を迅速に処理する。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村立図書館からの協力レファレンスに迅速に回答するとともに、掲示板からの受付を促進するために研修会等で継続的に広報を行った。</li> </ul>	
1-8	非来館型レファレンスサービスの推進	ウェブサイトからのレファレンス受付等、非来館型レファレンスを推進するとともに、2館が一体となり迅速に調査・回答を処理する。	活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブサイト受付フォームからのレファレンス申込に対し、2館で分担して迅速に調査・回答(191件)</li> </ul>	
1-9	行政支援サービスの環境整備と推進	熊谷図書館の行政支援サービス環境を整備し、浦和分室を通じたサービスを推進する。	その他
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「県職員向けデータベース講座(オンライン)」でサービス内容や利用事例を紹介</li> <li>県職員向けウェブサイト「行政支援サービス」ページの更新</li> </ul>	
5 取組による成果	<p>(1) レファレンス受付件数は、コロナ禍前には及ばないが、前年度を上回り目標を達成した。また、回答したレファレンスについては、高い満足度を維持した。目標には達しないものの継続的な広報によりレファレンス掲示板の利用が微増した。</p> <p>(2) 事業をオンライン開催したり、webサービスを活用するなどの工夫をし、非来館での調査・研究の支援を図った。</p>		
6 課題及び次年度取組	<p>[課題]</p> <p>(1) 新たな非来館型レファレンス受付方法の検討</p> <p>(2) 国立国会図書館レファレンス協同データベース事例一般公開件数の維持</p> <p>[次年度取組予定]</p> <p>(1) 情報提供ツールの効果的な活用</p> <p>(2) レファレンス協同データベースへのデータ提供</p> <p>(3) 「埼玉サーチ」の拡充・展開</p>		